

青少年体験活動総合プラン

平成20年度予算額 264百万円

現状 青少年をめぐる様々な問題（不登校、引きこもり、ニートなど）

原因

直接体験の不足

- ◆体を動かす体験
- ◆自然体験

希薄な対人関係

- ◆保護者の関与が少ない
- ◆地域の大人の関与が少ない
- ◆仲間との接触が少ない

生活習慣の乱れ

- ◆夜更かし
- ◆朝食欠食

対応 自然体験や交流体験など体験（集団宿泊）活動の必要性の高まり

学校教育における取組

青少年教育における取組

「**教育振興基本計画**
小学校で自然体験・集団宿泊体験を全国の児童が一定期間（例えば一週間程度）実施」

支援

小学校長期自然体験活動支援プロジェクト

自然体験活動指導者養成事業

○全体指導者養成事業
のべ225回

○補助指導者養成事業
のべ238回

小学校自然体験活動プログラム開発事業

○青少年教育施設等の特色あるプログラム開発
24プログラム

青少年の課題に対応した体験活動推進プロジェクト

- 自立に支援を要する青少年の体験活動
（ひきこもり、ニート、不登校など）
- 自律性・社会性を育む交流体験
（異世代間交流、異文化交流など）
- 青少年の発達段階に応じた体験活動
（幼少期の自然体験、サマーキャンプ、青年リーダー体験など）
- 環境教育の推進に資する青少年の体験活動
- 地域のリソースを活用した青少年の体験活動
（都市と農山漁村の交流、廃校を活用した体験活動など）
- 省庁連携による地域ネットワーク型体験活動
- 今後必要とされる指導者の在り方に関する調査研究等

50件